



# 平成29年度の決算審査

9月定例会で閉会中の継続審査となった決算認定議案を10月15日から31日にかけて4つの常任委員会で審査しました。

・紙面の都合上、質疑等の一部を掲載します。

・委員会記録は1月中旬にウェブサイトに掲載予定です。

ID 1022724

## 総務委員会

### ストレスチェックについて

**Q** ストレスチェックで、高ストレスと判定される職員が、年々増加しているが、どのような予防策をとっているのか。

**A** メンタルヘルスに関する刊行物の配付や職員研修での周知を行っています。また月に1度、希望者には臨床心理士と面談できる時間を設けています。

**Q** 高ストレスと判定された職員に対してはどのような対応をしているのか。

**A** 結果を本人に通知するとともに、必要に応じて所属長にも送付し、各職場で状況に応じた対策を行っています。また、希望者は、医師との面談も行っています。

### 市政アンケートについて

**Q** 市政アンケートの回答率が他のアンケートに比べて低いのはなぜか。

**A** アンケート調査の回答率は高齢者層が高く、現役世代は低い傾向があります。平成29年度の市政アンケートは試行的に回答率の低い現役世代の比率を高くして抽出したためです。

**意見** アンケートの回答方法を従来の郵送に加え、インターネットでも行えるように検討して

ほしいとの意見があった。



### 正規職員の補充について

**Q** 臨時職員に支払われている賃金は総額で正規職員を300人程度採用できる金額になっている。合併時と比べて、職員数を減らしているとの説明されているが、賃金は人件費に含まれないので見かけ上減っているだけではないのか。臨時職員ではなく正規職員で補充できないのか。

**A** 臨時職員は、繁忙期や正規職員の育児休業期間などに、その業務内容やコスト、市民サービスへの影響等を考慮しながら雇用しており、これを正規職員で補充することは考えていません。

### 運転免許証自主返納について

**意見** ーバスの回数券等を配付しているが、バス停が近くにない人にとっての支援になっていないので、制度の充実をしてほしいとの意見があった。

## 福祉健康委員会

としよりの家等の利用者数について

**Q** 利用者数が年々減少しているが、理由は何か。

**A** 高齢者の嗜好やニーズの変化によるものと考えています。

**意見** 浴場がある施設を有料化したことも利用者数減少の一因と思われるので、入浴料の引き下げや再度の無料化を検討してほしいとの意見があった。

### 保育園の施設整備について

**Q** 家庭での洋式トイレの普及率を考えると、保育園では洋式トイレが不足していると思うので、和式トイレの上に被せる等の簡易な工事で暫定的に洋式トイレにすることはできないのか。



**A** 簡易な工事では、安全性の問題があるため、慎重に検討します。

### 意見 共働き世帯が増えたこと

により、保育園によつては入園を希望しても、定員の都合で兄



弟姉妹が一緒に入園できないという状況があるため、保育園の園舎拡張を含めて、解決に努めてほしいとの意見があった。

### 地域自殺対策事業について

**Q** 本事業の一環として開催したゲートキーパー養成研修の今後の方針はどう考えているのか。

**A** 平成29年度は、民生・児童委員のみを対象に開催しましたが、30年度は市民も受講可能としているので、今後はより多くの方に参加していただきたいと考えています。

### 特定健康診査時の体力測定について

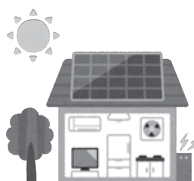
**意見** 他市では特定健康診査と共に体力測定を行っているところがある。保健センター等の公衆施設を活用して、このような事業を特定健康診査のメニューの1つとして加えるよう検討してほしいとの意見があった。



住宅用太陽光発電システム設置補助事業について

**Q** 市が試行で作成した「行政評価結果報告書」によると、温室効果ガス排出量の増加により、地球温暖化防止に関する評価が低くなっている。住宅用太陽光発電システム設置補助の申請件数が減少していることも一因と思われるが、この関連性についてどう分析しているのか。

**A** 温室効果ガス排出量増加の原因は、市内における産業活動の活発化によるものと分析しています。申請件数の減少は、余剰電力の買取単価が低下しているためと推測しており、これと排出量増加との関連性はなかと見ています。



事業所内における保育施設の整備に対する補助制度について

**Q** この制度の周知はどのように行われたのか。また、平成29年度は1事業所に補助が行われたが、30年度の申請状況はどのようになっているのか。

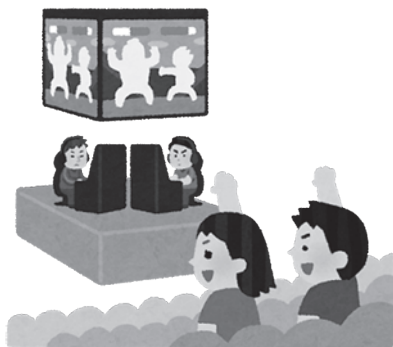
**A** 補助制度の広報は市ウェブサイトに掲載や、国の補助事業への申請を行った事業所に対

する案内をしています。また、平成30年度の状況は、1事業所からの申請のほかに、3事業所が国の補助採択を受けています。

eスポーツについて

**Q** eスポーツは、先日開催されたアジア競技大会で正式種目となり、オリンピックにも採用される可能性がある競技である。市内企業の製品がアジア競技大会では採用されたが、この企業と協働してeスポーツを本市で根付かせることは考えているのか。

**A** 担当職員が既にこの企業と折衝しています。本市においてeスポーツイベントの開催ができる土壌作りを行い、市の活性化につなげられるような取り組みを検討していきます。



下水道使用料金改定について

**Q** 平成29年10月から下水道使用料金を改定したことで増収となったが、その収益はどのように分配するのか。

**A** 下水道使用料による収益は、下水道関連施設の維持管理費用に充当し、さらに利益を計上した場合は、減債積立金に積み立て企業債の償還に充てます。

雨水貯留浸透施設の設置に対する補助制度について

**Q** 浄化槽転用貯留槽や雨水タンクへの補助金交付件数が平成28年度実績より減少したこと、浸透枘・透水性舗装についてはここ3年で実績がないのはなぜか。

**A** この制度を平成14年度から開始して年数が経過しているため、補助を希望する人が頭打ちになっているものと考えています。

**意見** これまでに実績もあり、効果も見込め、制度の意義はあると思われる。この補助制度の優位性をPRする方法や対象を見直すなどして、新たな補助希望者の掘り起こしに努めてほしいとの意見があった。

自転車ネットワーク計画策定について

**Q** 安全で快適な自転車利用環境を創出するため、一宮市自転車ネットワーク計画を平成29、30年度で策定することであるが、「優先的計画策定エリア」の設定と「自転車ネットワーク候補路線」の選定はどのように行ったのか。

**A** 「優先的計画策定エリア」は、市内の自転車通行量等を把握した後、市域を1kmごとに分け、自転車利用の発生・集中の多いエリアの中で、警察から提供された自転車事故多発エリアを選んで設定しました。

「自転車ネットワーク候補路線」は、市民アンケートにより抽出した自転車利用ニーズや利用量の多い路線と、自転車事故多発路線を照合し、「優先的計画策定エリア」の中から、必要と認められたものを候補路線に選定しました。

**意見** 今後は、自転車道と車道の分離が困難な狭い道への対応や、交通事故防止のための、ドライバードライバーのモラル向上についても取り組んでほしいとの意見があった。

閉会中の継続審査

定例会（臨時会）中に提案された案件は、その会期中に結論を出すことが原則です。しかし、案件によっては、より慎重に審査をする必要があり、その会期中に結論を出せない場合もあります。このため、閉会中や次の定例会でも引き続き審査すること（閉会中の継続審査）ができるように議会で議決をすることが認められています。もし結論を出さないまま、閉会中の継続審査とする議決をしなないと、その案件は審議未了として廃案になり消滅してしまいます。

平成29年度の決算認定議案10件は、9月定例会で提案されましたが、より慎重に審査をするため、閉会中の継続審査とする議決をし、9月定例会閉会後の10月中に各常任委員会で審査しました。12月定例会の開会日は、その審査の結果が報告され、全て認定する議決をしました。